

水害時の衛生対策と消毒方法

1 家屋等が浸水した場合

豪雨時等に路面が冠水すると下水道が逆流する可能性があります。下水道には汚水が混入している場合がありますので、そのような汚水によって、家屋等が浸水した場合は、洗浄により十分に汚れを除去して消毒するようにしてください。（消毒は、洗浄後でないと、効果を発揮することができません。）

路面が冠水しない状況で、雨水が浸水した場合は、水道水でよく洗浄を行えば衛生対策として十分ですが、場合によっては汚水が混入する可能性もありますので、消毒作業が必要となる場合があります。

2 衛生対策について

家屋等が浸水した場合、次のとおり洗浄及び衛生対策を行ってください。

● 床上浸水の場合

- ① 家の周囲や床下などにある不要なものや汚泥などを片付けてください。
- ② 床下は雑巾等で吸水し、扇風機等により強制的に換気するなど乾燥に努めてください。
- ③ 水が引いた後、濡れた畳や家の中の不要な物を片付けてください。
- ④ 汚れた家具や床・壁などは、水で洗い流すか、雑巾で水拭きするなどしてください。
- ⑤ 食器類や調理器具などは、水洗いして汚れをきれいに洗い流してください。
- ⑥ 食器棚や冷蔵庫などは、汚れをきれいに拭き取ってください。

● 床下浸水の場合

- ① 家の周囲や床下などにある不要なものや汚泥などを片付けてください。
- ② 床下は雑巾等で吸水し、扇風機等により強制的に換気するなど乾燥に努めてください。

● 食中毒、感染症の予防に

- ① 受水槽は、安全と衛生を点検・確認してから使用してください。
- ② 水に浸かった食品や、停電により保存温度が保てなかった要冷蔵・冷凍食品はできるだけ廃棄してください。
- ③ からだに異常を感じたら早めに医療機関で受診してください。
- ④ 食事の前や用便の後などは、しっかりと手を洗ってください。

3 消毒方法について

消毒薬は、過剰に使用すると人の健康や環境へ影響を与えることがあります。使用は必要最小限としましょう。また、使用の際には、取り扱い説明書に従い、事故が起こらないよう注意してください。

<参考> 消毒方法の例（※色々な濃度のものが市販されているので希釈倍率には注意してください。）

消毒対象	消毒薬	調整方法（例）	使用方法
屋内 （汚水に浸かった壁面や床、家財道具）	0.1%塩化ベンザルコニウム （逆性石けん）	10%塩化ベンザルコニウム 10ml に水を加えて1Lとする。	泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させたのち、薄めた液を浸した布などでよく拭く。 （噴霧器で噴霧した場合は、濡れる程度に噴霧する。その後、風通しをよくしてそのまま乾燥させる。） 消毒は汚れが残っていたり、濡れている状態で行うと十分な効果を発揮することができません。
手指 （後片付けなどで、汚染された箇所や土に触れた手指）			汚れを石けんで洗ったあと、流水で石けんをよく落とし（石けんが残っていると殺菌力が低下します。）、洗面器などに入れた消毒液に手首まで浸し、30秒以上もみ洗する。その後、乾いたタオルなどで、よくふき取る。
食器類	0.02%次亜塩素酸ナトリウム （家庭用塩素系漂白剤でも可）	10%次亜塩素酸ナトリウム2mlに水を加えて1Lとする。	食器等を水洗いした後、消毒液に5分以上浸し、自然乾燥させる。（家庭用塩素系漂白剤を用いた場合は、水ですすぐ。）

※ 消毒薬を取り扱う際には、長袖、長ズボン、めがね、マスク、ゴム手袋などを使用し、皮膚や目にかからないように注意してください。また、皮膚についた場合、水と石鹸でよく洗い流し、目に入った場合は、水で15分以上洗い流し、医師の診察を受けてください。使用する直前に希釈し、希釈濃度を守るとともに、他の消毒液や洗剤と混ぜないで使用してください。